

～諏訪小ふれんず～  
『英語で遊ぼうプロジェクト』

石川晴子ゼミ  
瀬谷祐貴、正路裕平、釘宮慎也』

プロジェクトメンバー

- 担当教員  
『石川 晴子』
- 三年生  
釘宮 慎也、正路 裕平、瀬谷 裕貴、大地 優人、  
岡村 光、廣木 勝利、上野 耕太
- 二年生  
澁谷元樹、栗原望、井上あかり、中村貴広、  
大瀧有未、石川堅一、菅谷由紀、落合孝行

『ふれんず』とは

- 放課後の児童の安全な居場所を提供する場として、東京都多摩市がサポートする、諏訪小学校の放課後教室
- 主催者＝多摩大学EXゼミ担当片桐先生。 地域住民、大学生（現在は多摩、法政、帝京、国士館大学）が連携し、協同で運営する

石川ゼミでふれんずの活動を始める  
に至った経緯

『子供に英語を教えたい、というゼミ生の希望』



『片桐先生を通じて、参加させていただいた』

プロジェクト活動内容  
～英語で遊ぼう～

- 子供たちへのゲームや遊びを中心とした英語授業例）ボールを使った自己紹介、フルーツバスケット
- 英語の授業を行う際には、様々な役割がある。  
『進行役→約1名』  
『ゲーム説明役→約1名』  
『練習・手本役→約2～3名  
(どのように遊ぶかを伝えるため)』

英語で遊ぼうプロジェクト  
平均参加者数～当日～

- 安全管理員（ゼミ生3～8人、地域住民2人）
- 生徒3～10人

### 今まで行ったゲームの内容

- 「自己紹介ゲーム」
- 「英語カルタ」
- 「椅子取りゲーム」
- 「英語4択クイズ」
- 「フルーツバスケット」
- 「英語の数字双六」
- 「英語じゃんけん」

### 活動の流れ～準備期間～

- ①月一の定例会（＝活動日を決める） に出席する
- ②自分たちの活動できる日程を決める
- ③それぞれ行う授業の内容、用意する物を決める

### 活動の流れ～当日～

- ①諏訪小学校に向かい、英語授業を行う
- ②自由時間になったら、遊ぶ
- ③自由時間が終わったら教室に戻り、帰りの会をする。
- ④子供たちを帰らせたあと、反省会をする。  
それを終えたら、解散。

### 苦労した点

- 会議の時
- どうすれば楽しく学んでもらえるか
- 子どもとのコミュニケーションのとりかた
- 最初の授業
- 叱り方

### 問題点

- 時間配分の仕方
- 子供の人数が少ない。
- 情報共有

### 改善方法～時間配分～

- 時間配分をあらかじめ決める
- 臨機応変に対応
- 授業の練習をする

### 改善方法～生徒を増やすには～



### 改善方法～情報共有～

- Facebookのゼミのグループページにて授業内容を伝える。そしてFacebookをこまめにチェックする。
- ゼミ生同士で話し合う時間を1カ月に1回だけでも作る。

### 今後どうしたいか

- この活動を、次に来る後輩たちに、ちゃんと受け継がれるように努力していきたい
- 子供たちを楽しませるような、遊びを次々と生み出していきたい
- 他大学の学生とのコミュニケーションをよりとれるようにしていきたい。

